

## 令和6年度 第3回鳴門高等学校学校運営協議会議事録（概要）

1 日時 令和7年3月10日(月) 午前10時から正午まで

2 場所 鳴門高等学校 視聴覚室

### 3 会次第

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

(3) 村澤会長挨拶

(4) 議題①「令和6年度学校評価総括評価表（案）について」

（・事務局より説明・回答 ○委員より質問・意見）

- ・ 島教頭から全日制課程令和6年度学校評価総括評価表（案）について、重点課題ごとに説明を行い、質疑応答を行った。

#### 【学習指導の充実】

○ タブレットの持ち帰りやAIドリルの導入について

- ・ 持ち帰りの充電コードがなく、新しいタブレットが配備されるのも時期が遅かったため、持ち帰りは現在行っていない。しかし、スマートフォンを用いてClassiなどの学習クラウドサービスの活用を進めている。

#### 【生徒指導の充実】

○ 撫養駅の自転車の駐輪状況について

評判がよい。市民の目は鳴高生に注目している。

○ 配付文書について

3割が保護者に届かないことがとても深刻に感じる。指導方法について改善できないか。クラウドサービスの活用によって配付文書を保護者にオンライン上で配付していくのはどうだろうか。

○ ヘルメット着用について

ヘルメットの着用について指導が必要だ。新入生から指導していくことが必要である。

合格者招集で警察の方から説明してもらうのも検討して欲しい。

- ・ 中学校とも連携をし、継続してヘルメットを着用することが当たり前になるように指導していきたい。

#### 【開かれ信頼される学校づくりの推進】

○ Education プログラムの奨学金が実現したことは、鳴門市教育委員会からのサポートが大き

い。鳴門高校から、積極的に要望や依頼をすることにより、様々なことが実現していくと考えるので、待たない姿勢でアプローチしてもらいたい。

○ 県外大学視察はできたが、テーブルマナー講習会の実施は昨年度に引き続きできなかった。行事自体に見直しが必要かもしれないが、呼びかけを充実していきたい。

- ・ 神戸教頭から定時制課程令和6年度学校評価総括評価表（案）について、重点課題ごとに説明を行い、質疑応答を行った。

#### 【主権者意識向上】

- 主権者教育については定時制・全日制問わず学んでいく必要がある。  
税金などの仕組みについてどのように指導しているか。
- ・ 家庭基礎の中で、適切な指導を検討し、より充実したものにしていく。
- 定時制課程でも授業が分かりやすく、指導が充実していることを嬉しく思う。引き続き指導をしていただきたい。

#### (5) 議題②「令和7年度学校評価総括評価表（案）について」

（・事務局より説明・回答 ○委員より質問・意見）

- ・ 島教頭より、令和7年度学校評価総括評価表（案）について説明があった。  
前回承認いただいた重点課題・重点目標を軸に、評価指標と活動計画について説明し、質疑応答を行った。

#### 【進路指導の充実】

- スクールポリシーと関連させていることはとても素晴らしい。「自ら学び続ける」という目標に対して、評価指標とどのように関連しているかを教えて欲しい。
- ・ 学校行事を展開する中で、生徒の意見を吸い上げ、行事をよりよいものにしていこうとすることにより、生徒が自ら発案し、主体的に行動できる生徒が増えることを目指している。生徒指導についても、安心して過ごしやすい学校を生徒がイメージし、自ら行動していくことを目指している。
- 重点目標と評価指標に各課で評価指標を設定すると無理が生じるので、整理をし、共通の目標を設定し、学校全体で実現できたかを評価した方が良いのではないかと。  
また、生徒の変容を目指そうとしているので、どのように変容したのか分かるように評価指標を設定した方がよいのではないかと。
- 夢をかたちにするという重点課題があるため、夢が叶っているか評価する指標にして欲しい。
- ・ 生徒の進路希望を調査し、それを追っていくことで、どのくらい夢が実現できたかを評価していきたい。
- 裁量権の行使や自己決定という経験を積み重ねることで、自ら学び続けることが身につけていくと思うので、評価指標にも取り入れていけばいいのではないかと。

#### (6) 熟議・情報交換

- 学校運営協議会により、多くの建設的な意見が出てくる。鳴門市から、Educationプログラムの奨学金の給付があるなど、より充実するような学校運営になってきている。学区制が廃止になるが、今から魅力化のブラッシュアップを進めていく必要がある。学区制の廃止によって、他地域から鳴門で教員になったり、なるために鳴門高校に来たいと思う仕組みを作ることできる。

- 生徒にどのようなことを取り組ませたいか、どのような力を育成させたいのかを考え、次年度に生かしていくことは、学校の魅力化にもつながっていく。そのような認識をもって計画・実施をしてもらいたい。
- 鳴門市としても、様々な関わりができるので、教員になりたい生徒が鳴門高校で学び、より充実して学べる環境を作っていって欲しい。
- この会を通して、多くの方が鳴門高校を愛してくれているのが分かった。学区制の廃止によって、中学生が多くの選択肢を持つことになるので、より魅力のある学校になってほしい。
- 子どもの数の現象は深刻であり、定員も減ったことを受けて、鳴門高校はどのような方向に進んでいくのかを検討していかなければならない。環境作りとして、看板の整備など、開かれた学校づくりを目指してもらいたい。
- 鳴高生を多くの方がサポートし、支えていっていることを鳴高生には知ってもらいたい。

(7) 事務連絡

退任委員、新委員について

(8) 閉会